

学校の概要

1 校歌

作詞 大塚 盈
作曲 松田 喜一

ふ る き きー ぎ え だ さ す に わー べ き よ き みー
 ず お の ず と わ けー り は る か な る れ き
 し を こ こー に あ お き くー も に お い て な が るー あ あ ほ
 るー わ れ ら わ れ ら こ の ま な び や に わ れ ら ま な べ り

平成30年4月 ピアノ伴奏曲 松山 太朗

三	二	一
この学舎に ああ芭露 勤勞の想はあつし 豊かなる大地をここに あら草もまきばにかおる 渡る風 畑の面にそよぎ この学舎に われら励めり	この学舎に ああ芭露 大いなる望みは生まる ああ芭露 われらわれら 若きわが命をここに 登り立つ 潮見の丘ゆ 広き海 ま近にせまる この学舎に われら学べり	古き木々 枝さす庭べ 清き水 おのずとわけり はるかなる 歴史をここに 青き雲 において流る ああ芭露 において流る この学舎に われらわれら この学舎に われら学べり

2 応援歌（旧湖陵中学校校歌一部変更）

湧別町立湖陵中学校校歌

昭和38年12月13日 制定

作詞 山田敏夫氏
作曲 村井久昭氏

あ あ さ く ほ く - の あ さ - ぼ ら - け え い
ち の ひ か り ち に - み ち - て
し ん り の み ち を て ら す と き こ こ
に つ ど い し わ か - き ら は み ら
い に た け - き ま ゆ あ げ ん こ り よ
う わ れ ら こ り よ う ち ゅ う が く

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>四</p> <p>ああ 昏鐘は丘に鳴り
牧牛すてに草食ます
残光影を沈むとき
文化を担う若きらに
思想の花や開くべし
芭露われら 芭露学園</p> | <p>三</p> <p>ああ 潮なりや オホーツクの
風氷雪を まじえつつ
試練の曲を 奏すとき
学びてやまぬ 若きらの
ゆるがぬ心 歌うなり
芭露われら 芭露学園</p> | <p>二</p> <p>ああ 流麗の 芭露川
先人の史 刻みつつ
サロマの湖と 展くとき
腕くみ交わす 若きらに
拓世の固き 誓いあり
芭露われら 芭露学園</p> | <p>一</p> <p>ああ 朔北の 朝ぼらけ
英知の光 地に満ちて
真理の道を 照らすとき
ここに集いし 若きらは
未来に健き 眉あげん
芭露われら 芭露学園</p> |
|--|--|--|--|

3 校章

◎ 校章のいわれ

豊かな酪農村を表すクローバーにサロマ湖の波を配し、地域の自然と、そこに営まれる生活を描き出し、中央に中学校を円に形どり、真理追求の知性をもって発展する意志をペンに託してある。

湖陵中学校のこの校章を元に、新たに義務教育学校になるにあたり、中の文字を「芭」に変更した。



◎ 湖陵中学校初代教頭 堂坂 美義 氏 案

◎ 昭和38年12月13日 制定
平成30年4月1日 改訂

4 認可学級数及び在籍生徒数 学級数 10 児童生徒数 37名

	前期課程						後期課程			合 計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
男子	1	0	3	1	3	2	2	2	2	16
女子	6	4	1	1	0	1	2	2	4	21
合計	7	4	4	2	3	3	4	4	6	37

5 通学方法

	徒歩（自転車）	通学バス	合計
前期課程	2	21	23
後期課程	1	13	14
合 計	3	34	37

6 保護者の職業

	酪 農	漁 業	会社員	合 計
前期課程	19	1	3	23
後期課程	7	5	2	14
合 計	26	6	5	37

生徒通学区域図



7 校下・地域の概要

校下は、湧別市街地区から南方に約12キロメートル離れたサロマ湖（網走国定公園）沿いに面しており、風光明媚な環境にある。酪農経営と漁業経営が中心で、畑作経営も見られる。気候は、夏はオホーツク海の影響で涼しく、冬は比較的温暖で積雪が少ない。また、年間を通して風が強く雨量が少ない。しかし大雨の時には、床下浸水や床上浸水になる時もある。そのため、芭露川の拡張改修工事を数年かけて行っている。

平成30年4月1日に芭露小学校と湖陵中学校が統合し、芭露学園となって生まれ変わった。校区は、芭露・上芭露・東芭露・西芭露・志撫子・計呂地の6地域からなり、戸数約382戸、人口965人（平成22年10月1日現在）、PTA戸数26戸である。

芭露地区は、明治28年に開拓が始まり平成7年8月に開基100年を迎えた。地理的に湧別市街地区から離れており、図書館・文化センターなどの公的文化施設を活用する機会が少ない。しかし、湖・河川・山林・緑の畑地などの自然と直接関わりをもつことができ、のびのびと生活している。

8 学校（児童生徒）の概要

昭和55年に小学校が統合し、新設芭露小学校として誕生した。昭和57年には、通算80周年記念協賛会式典を挙行了。平成3年には、6地区全ての統合校となった。校舎は3回の水害に見舞われた。湖陵中学校は、昭和38年4月より統廃合が始まり、昭和44年までに上記6地区が全て統合され現在に至っている。平成25年11月には50周年を迎えた。その芭露小学校と湖陵中学校とが、平成30年4月1日、芭露学園として義務教育学校となって新設された。

保護者や地域住民の学校に対する関心は高く、協力的である。校地の環境整備や諸行事には、家族ぐるみで協力や参加が見られる。家庭においても、曾祖母、祖父母などと一緒に生活する生徒が多く、穏やかな性格の生徒が多い。

バス（スクールバス1台・町営バス1台・ワゴン車1台 合計3台）による登下校の生徒が90%を超え、部活動が時間的に制約される。一部の部活動については、保護者対応で、バス運行時間後も行っている。

児童生徒の特色

- ①明るく素直であり、まじめである。特に学校行事に対して企画立案等主体的に参加し、創造的な行事づくりに取り組む。
- ②学年の隔たりがなく、家族的な雰囲気である。
- ③学習態度など基本的な姿勢が身に付いている。
- ④問題行動はあまり見られないが、保育所からの人間関係が固定気味であり、望ましい学級集団や人間関係の指導を徹底している。
- ⑤運動に親しみ、楽しく生活している。
- ⑥動植物など自然に対する興味関心が高く、親しみを持っている。

特色ある主な教育活動としては、

①体験学習の取り組み

- * 低学年 交通機関乗車体験学習、芭露地域探検
- * 中学年 社会科見学
- * 高学年 酪農体験学習
- * 7年生 ホタテ養殖体験学習（地元漁師）
- * 8年生 オホーツク地域の歴史や文化 地域体験学習
- * 9年生 保育所訪問（地元保育所） 農業体験学習（地元農家）

②愛の声かけ運動

町の「あいさつ運動」に合わせて、生徒会の年間活動計画に位置づけ実施している。6・7・9月それぞれ2日間、執行委員が登校生徒とあいさつを交わし、より良い学校生活づくりを目指している。

③ 湖陵太鼓の活動

全校生徒で取り組むが、行事や音楽の時間を中心に行う。それぞれの太鼓ごとにグループを組織して、リーダーの指導で練習に励んでいる。活動の発表としては、学校祭等の学校行事、産業まつり、地域行事等がある。

9 児童生徒数推移

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
1年生	6(1)	4	7	8	5	7	6
2年生	4	6(1)	4	7	8	5	7
3年生	2(2)	4	6(1)	4	7	8	5
4年生	2	2(2)	4	6(1)	4	7	8
5年生	3	2	2(2)	4	6(1)	4	7
6年生	3	3	2	2(2)	4	6(1)	4
前期合計	23	24	28	34	35	38	37
7年生	3(1)	3	3	2	2(2)	4	6(1)
8年生	4	3(1)	3	3	2	2(2)	4
9年生	6	4	3(1)	3	3	2	2(2)
後期合計	14	11	10	8	9	10	15
全児童生徒数	37	35	38	42	44	48	52